



## 特集『あの人とともに』

ことばキャンプ長野

### 竹内はるかさん

聞く耳モード、スイッチオン！

あなたのチャレンジを応援します！

●塩尻市まちづくりチャレンジ事業 補助金

## 市民のみなさんへ お知らせ

### 塩尻市 まちづくりチャレンジ事業 補助金

あなたのチャレンジを応援します！塩尻のまちをもっと住みよく、楽しくするための(公益)活動に対して、塩尻市では補助金を交付します。平成29年度の募集受付期間は**4月1日(土)から4月15日(土)まで**。塩尻を元気にする素敵な活動の参加をお待ちしています！

#### ●●◆◆□■ 選べる“チャレンジのカたち” ■□◆◆●●

<b>体験型 トライアル事業</b>	「何か始めてみよう」という団体の皆さんに、まちづくりへの参加のきっかけをもらうための事業です。事業の実施を通して、活動をしていくためのネットワークづくりを行うとともに、市民の皆さんに身近な課題を提案し、共有を図ります。	<b>発展型 ステップアップ事業</b>	「得意分野を生かし、新たなまちづくりの担い手を目指そう」という、団体の自立や新たな事業の確立を目指すための事業です。計画的に事業展開を行いながら、3年の間に段階的にステップアップを図ります。
------------------------	---	--------------------------	---

事業	体験型：トライアル事業	発展型：ステップアップ事業		
		1年目	2年目	3年目
達成目標	ネットワークづくり、身近な課題の共有や提案	団体設立のための環境整備、事業の実施	団体の発展のための環境整備、事業の発展	協働事業(公共を担う事業)実施に向けた事業展開
補助限度額	<b>10万円</b>	<b>20万円</b>	<b>20万円</b>	<b>40万円</b>
対象経費の補助率	10/10以内	9/10以内	8/10以内	7/10以内
応募受付	年2回 <b>[4月・9月]</b>	年1回 <b>[4月]</b>		
採択基準	○目的が明確か ○公益性があるか	○目的が明確か ○自立しているか、あるいは自立を目指しているか	○公益性があるか	
研修・交流会等への参加(必修事項)	◆ 団体のスキルアップのための研修会への参加(「協働とは」、「団体運営の課題解決」など) ◆ 活動の成果を広く知ってもらうための交流会などへの参加 … ● まちづくり交流会 ● 中間報告 ● 実績報告会			
補助対象外	◆ 社会や、地域のどのような問題を解決するための活動なのか不明確なもの ◆ 公益性がない活動・事業…趣味やサークルの活動、個人や団体の利益のための活動、参加者が少人数限定される活動、宗教・政治活動を目的とした活動 ◆ 自立を目指さない団体・事業…会則を定めていないもの、会費を徴収していないもの、財政計画がきちんとしていないもの、食糧費・通常の事務費・備品の比率が補助対象経費全体の6割以上のもの			

※本制度は、塩尻市補助金等交付規則および塩尻市まちづくりチャレンジ事業補助金交付要綱に基づいて実施しています。

▶ 市民公益活動に関する掲載記事やお知らせを募集しています！詳しくは、えんのわまで！

本誌に関する  
お問合せ先

**発行** 塩尻市市民交流センター 交流支援課

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL:0263-53-3350(内線4221)  
E-mail:collabo@city.shiojiri.lg.jp http://enpark.info/

**編集** 特定非営利活動法人 えんのわ

〒399-0736 塩尻市大門一番町12-2 TEL/FAX:0263-54-3320  
E-mail:ennowa@hotmail.co.jp



## まちチャレ情報

塩尻市では、協働のまちづくり基金を活用して、新たなまちづくりの担い手となる団体や活動を応援する補助金を交付しています。平成28年度まちづくりチャレンジ事業(発展型:ステップアップ)では、公開選考会を経て6事業が採択されています。

### ① ことばキャンプ長野

助成額  
20万円

事業名 子どもたちの生きる力、コミュニケーション力育成事業

子どもたちがコミュニケーション力を育むことで、自尊他尊の人間関係を構築できる世代を育成する。

### ② 特定非営利活動法人

助成額  
20万円

NPOホットライン信州

事業名 信州ふれあい食堂

子どもたちが安心感と自己肯定感を抱ける居場所づくり。

### ③ ちび商人(あきんど)

助成額  
20万円

事業名 地元産の旬の「美味しい」を地元の皆さんに届けるプチマルシェ「ちび商人」

地元で取れた旬の野菜の消費拡大を図りながら、人と人のつながりを創出する。

### ④ さつき会

助成額  
20万円

事業名 勝弦(かつつる)地域魅力アップ事業

勝弦地域の魅力を高め、観光資源の整備を行うことで観光客の回遊、誘致につなげる。

### ⑤ 塩尻「学び」マネジメント

助成額  
20万円

事業名 塩尻「学び」マネジメント

子どもたちの主体的・協働的な「学び」を実践し、人間関係づくりと学力向上につなげる。

### ⑥ Go Global (ゴー グローカル)

助成額  
20万円

事業名 グローカル留学事業

市民の国際力の向上を図り、グローバル化に対応できる人材を育てる。



◀ミニプレゼンなどを行い、話す力を養います。発表の後には先生から「良く出来ました」の「花丸シャワー」!



▲塩尻教室の早川佑桂先生とことばキャンプに取り組む子ども達

## トトモ 特集『あの人とともに』VOL.4

### 聞く耳モード、スイッチオン! ことばキャンプ長野 竹内 はるか さん

「聞く耳モード、スイッチオン!」これは、子どものコミュニケーション能力の育成活動を行う「ことばキャンプ長野」が掲げるブランドルールのひとつだ。話を聞く姿勢を大切にしよう、相手の話す時間を大切にしようという意味が込められており、講座に訪れる子ども達はこの合言葉を合図に先生の方を向き、真っ直ぐに眼差しを向ける。

「コミュニケーション教育を中心とする「ことばキャンプ」は、横浜を拠点に活動するNPO法人JAMネットワークが考案したプログラムだ。竹内はるかさんはこのプログラムに感銘を受け、元気づくり支援金を活用しながら横浜から講師を呼び、インストラクターの養成講座を開いた。そして2015年10月に、誕生した10人のインストラクターと共にことばキャンプ長野をスタートさせた。「ことばキャンプを初めて見た時、子どもたちがたった3回の講座で変わったんです。それで、これはぜひ長野県でもやらねば、と(笑)」。

ことばキャンプに通う子ども達は、人前が苦手、度胸がない、人見知り、話を聞けない、話せない等、各々の課題を抱えている。竹内さんは「子どものコミュニケーションの課題に対して、そのうち出来るようになるだろう、性格次第だから仕方がない、と諦めている親御さんが多い。練習すれば、それなりに出来るようになるし、生活に直結する力なので早い段階からサポートしたい」と話している。

竹内さん自身、実は子どもの頃に「話せない」時期を過ごしていた。「小学3年生の時に、転校した先で名前を言うだけの自己紹介が出来なかつたんです。頭の中真っ白で」。今となつては「あの時は大パニックでしたな」と笑つて話す竹内さんだが、人前が苦手な時期は中学まで続いたそうだ。

現在、まちづくりチャレンジ事業の助成を受けて塩尻市で月に1回、全6回のことばキャンプを行っている。幼児から小学生が通っており、受講者の親からは「モジモジしていた子が人前で話せるようになった」「学校で手を挙げるようになった」といった感想が届いている。竹内さんは「早い時期にコミュニケーション力をつけられれば辛い思いも減るし、楽しいことが増えると思うんです。ぜひ多くの子どもさんの力になりたいですね」と、快活な笑顔で話してくれた。